



ホテル エーゼット

HOTEL AZ だより 2024年 春編

Vol.16

令和6年4月号

ご自由に
お持ち帰り
ください



山口県
下松市

下松市は山口県の南東に位置し、瀬戸内海に面しています。県庁所在地の山口市から東南東へ約40km、東は光市と周南市に境を接する。温暖な気候で1年を通じて過ごしく、豊かな自然の恵みに加え、製造業も盛んです。



山口・下松市の旅路

笠戸島の「潮風ガーデン」

人・時めぐり逢い紀行⑩

日一日と明るさを増す陽光を受けて、花々が咲き競う春。今回は山口県下松市の玉井哲郎副市長をお訪ねしました。

〔発行問い合わせ〕
株式会社アメイズ 福岡事務所
TEL:092-605-3321 FAX:092-605-3335
〒811-0213 福岡市東区和白丘2-3-2
令和6年3月発行 発行責任者 穴見 賢一（代表取締役社長）

人時邂逅

代表取締役社長
株式会社アメイズ

穴見 賢一

Kenichi Anami

1970年生まれ、大分県佐伯市出身。2016年『ホテルAZ』を全国87店舗展開する『株式会社アメイズ』代表取締役社長に就任。柔道初段。趣味はロードバイク、カメラ、ラジコン(車、飛行機)。

玉井 哲郎

山口県下松市
副市長

Tetsuro Tamai

1963年生まれ。下松市出身。同志社大学卒業後、1987年に市役所入りし、企画財政部長などを経て2017年4月から現職。「下松市栽培漁業センター」理事も務める。趣味はランニング。今年も笠戸島で開催されたトレイルランに参加。

1 4月27日(土)午前10時! 道路を「台湾特急車両」が走る!

(株)日立製作所笠戸事業所が製造している国営台湾鉄路(株)向け鉄道車両を笠戸事業所前から下松駅南口間の往復3.3キロを専用トレーラーに載せて陸送するイベントが開催されます。陸送スタートは午前10時。当日は、「くだまっスポーツセンター」などにキッズ広場やグッズ販売ブースなども設置されます。



2 世界に向けて、造船技術を発信する新笠戸ドック

船舶の製造・修理を中心とする造船会社です。同社の前身である「笠戸船舶(かさどせんきょ)」は、大正7年の創業。笠戸島でものづくりの歴史を刻んできました。世界各国をビジネスフィールドとし、グローバルな活動を展開しています。



3 下松市栽培漁業センター(ひらめきパーク笠戸島)

下松市の水産資源の拡大につなげるための試験研究機関。年中出荷できる笠戸ひらめをはじめ、笠戸のとらふぐ、笠戸さばなどさまざまなブランドが誕生しています。魚と触れ合えるタッチングプールは日本最大級!ひらめのエサやり体験もできます。新鮮な笠戸ひらめも販売しており、ここ3年間で来場者は10万人を突破しました。



4 下松スポーツ公園

体育館などの施設を備えた総合スポーツ公園。併設の「冒険の森」にはアスレチック遊具があり、親子連れで賑わいます。花の名所としても有名で、3月下旬〜4月上旬ははしたれ桜、9月中旬〜10月下旬にはコスモスが咲き乱れます。下松市では今後、障がいがある人もない人も楽しく遊べるインクルーシブ遊具を備えた公園も市内に建設する計画です。



5 はなぐり海岸(海上遊歩道)

全長約300mの遊歩道。沖合に向けて突き出した堤防が3カ所設けてあり、釣りが楽しめます。ここから眺める瀬戸内海の夕日も絶景です。はなぐり海水浴場もすぐそばにあります。



流れ星伝説に由来!? 下松くくだまつの市名

穴見 下松市を回ると、街頭や道路など至るところに星のマークが使われているのを目にします。下松と星は何か関係があるのですか?

玉井 そうなんです。下松市には流星伝説(流れ星の伝説)がありまして、推古天皇の時代に一本の老松に空から星が降ってきた。「百済(くだま)の皇子(みこ)がこの地にやってくる」というお告げがありました。それがその3年後、百済から琳聖太子(りんしやうたいし)がこの地にやってくるのちにこの地を治めた大内氏の祖とも言われています。そのことから星が降った「くだま」の「降る」くだる(松)「降松(くだま)」となり、現在の「下松」となったという言い伝えがあります。そこで、下松市のキャッチフレーズは星降るまじなです。

※「推古天皇・日本最初の女天皇 飛鳥時代」

穴見 とつちもロマンチックなお話ですね。

玉井 「百済の津(百済と貿易する港からくだま)」「くだま」となつたという説もあります。津は「港」のことです。当市の徳山下松港は昔から海洋の要衝で、百済などとの海外交易で活躍した歴史を持っています。現在も、水深が深く、良好な港として、小名浜港と並んで「国際バルク」※「戦略港湾」に選ばれています。

※「バルク」：石炭などを包装されないまま積載されるバラ積み物

穴見 実際車で走ったのですが、きれいな湾ですね。笠戸島の入り江や岬に守られ、風がないでいる湾の様子はとても絵になります。反対に、笠戸島から陸地を眺めると、湾岸立地の工場群があり、活気のある景色が見えました。日立製作所笠戸事業所を始め、大企業も誘致され、下松市の活気を感じます。



た「大城」で笠戸ひらめの堪能御膳をいただきます。高級魚であるひらめのコース料理が手軽に味わえるのは魅力です。ね、ひらめの刺身のしゃぶしゃぶもひと工夫してありましたし、えんがわも適度な塩があって美味しかったです。

玉井 笠戸ひらめは、笠戸島にある下松市栽培漁業センターで養殖されたブランドひらめです。肉が厚く、ほのかな甘みがあり、穴見社長がおっしゃるとおり、えんがわは脂のりも良くおすすめです。

玉井 10年ほど前から実験的に山口萩の夏みかんの果汁を入れたエサを与え始めたところ、美味しさと高評価をいただく待てます。

れ、次に蒸気機関車の製造、さらに新幹線などを造る日立製作所笠戸事業所となり、現在に至っています。

穴見 日本が技術大国になる過程の重要な位置に下松市があるということですね。

玉井 下松市では鉄道車両を造っています。完成した鉄道車両は通常、夜間に陸路で運ぶのですが、その光景を昼間に「見たい」イベントを開催します。

穴見 鉄道にも興味がありますので、このあたりで鉄道車両が造られていることは知っていました。真夜中に移動しているのは見たことがあります。

玉井 それが今回、昼間に道路を走るイベントを開催するんです。ゴールデンウィーク初日となる4月27日(土)、日立製作所笠戸事業所で製造している国営台湾

海山の自然 季節の花々を愛で、笠戸ひらめのおいしさの秘密を知る

穴見 下松市ならではの観光スポットやグルメを教えてくださいませんか?

玉井 やはり観光の目玉である笠戸島です。市の観光拠点施設として、市が建設した国民宿舎大城(おおじょう)や島の山手には家族旅行村があります。とても見晴らしの良いキャンプ場や、キャンプ用品のレンタルもありますので気軽にキャンプやバーベキューを楽しむこともできます。

穴見 今日こちらに来る前に、お伺いし

6 国民宿舎「大城(おおじょう)」で味わう笠戸ひらめの堪能御膳

笠戸島の笠戸ひらめの薄造りや笠戸ひらめのスープと下松特産「パイヤ茶」でブレンドした特製出汁でいたたくしゃぶしゃぶをはじめとした豪華海鮮ランチ。売店では、特産の笠戸レモンを使ったサイダーやパウンドケーキなどお土産が販売されています。



7 下松名物牛骨ラーメンはいなり寿司とセットがお約束

下松ラーメンといえば、牛骨ラーメン。独特の甘みと香ばしさが特長です。いなり寿司とセットでいただくのが下松風。行列ができる店舗もあります。牛骨ラーメンは下松市のふるさと納税返礼品の中でも一番人気!



を取られていますか? 移住サポートのようなものもあるのでしょうか?

玉井 県と共同の施策なのですが、「移住支援金」や「引越し費用の割引」住居ローン優遇などが受けられる「MY・ターンパスポート」を発行しています。移住を希望して下見に来られる方に向けて「MY・ターンの支援交通費補助金」というものもあります。しかし、何よりも重要なものは雇用だと思います。下松市は、製造業、ものづくりという付加価値の高い産業と雇用がありますので、それを軸に集中的に取り組んでいます。

穴見 下松市ならではの強みを活かそうですね。

玉井 そうなんです。ものづくりといえは昔は男性ばかりの世界でしたが、現在では理系に進む女性も増え、ものづくりの界限でも女性の進出が当たり前になってきました。下松市にある東洋鋳鉄(株)にもたくさんの方が技術者として勤務されているのと同じです。ものづくりの職場に女性の雇用が生まれ、男性メインの職場が徐々に変わっています。

穴見 ものづくり女子という言葉もありそうですね。

玉井 地方都市では、就職を機に女性が県外へ出てしまいがち、いったん出ると戻ってこないというのが共通する課題です。当市でも20代から40代の女性の比率が男性に比べて非常に低いのが現状です。女性が地元で希望の仕事に就くことができ、結婚して仕事と家庭を両立できるようなビジョンを描くことができれば、県外に出ていく必要はなくなります。それにより人口の減少を食い止められると考えています。先進の鉄道車両の陸送イベントは地元企業のものづくりの力を披露する場でもあります。ものづくりの仕事をしたいという女性には、活躍の場がたくさんある下松市にぜひ注目していただきたいのです。そのために市では具体的な仕事を紹介するセミナーやイベントを企画しようとしています。

穴見 企業がこれだけ集まるのは魅力がある証拠ですね。活気のあるところは人が集まります。当ホテルの「山口下松」は非常に稼働率が高く、予約が取れない方に近隣の「山口徳山」を案内することもあります。

玉井 もうひとつHOTEL AZさんを作ったほいで、すね笑。企業研修などで1カ月くらい下松に滞在されるお話などもよく耳にします。

穴見 下松市は自然や商業施設が充実していて、水道料金が安く、暮らしやすくてに優しいまなで、働く女性や子育てさんも自分らしく暮らせるまちなちなのではないかと感じました。

玉井 地元の子どもたちにも、ものづくり産業を知ってほしいという当市の市長の強い思いから、新笠戸ドックでは新造船を船底から見ることができる見学会を毎年開催するなど、ものづくりを身近に感じられる催しを行っています。観光面でも自然の資源を活かした農業・漁業の体験型イベントを積極的に実施しています。

穴見 これからよい季節になりますし、ぜひ観光がてら下松市を訪れていただきたいですね。

玉井 まずは4月27日(土)の特急車両の陸送イベントをお見逃しなく、たくさんのご来場をお待ちしております。